

全校朝会（うれしかったこと）

2019. 2. 25

6年生に：1年生へのメッセージ

今日は、うれしかったことを2つお伝えします。

1つは、4年生と6年生が人助けをしたことです。公園で遊んでいたら、女の子が道で倒れていることに気付いたので、走って行って「大丈夫ですか。」「救急車を呼びましょうか。」と声を掛けたり「リュックサックおろしたほうがいいですよ。」と言って、おろすのを手伝ったり持ってあげたり、近くの保育園に知らせに行ってくれたりしたそうです。先週の火曜日にその人から学校に電話がかかってきて、涙が出るほど感激し、とても感謝していると伝えてほしいと言われました。大人は知らん顔をして通り過ぎていく人が多かったのに、子供たちはすぐに駆け寄ってきてくれた、救急車が来るまでいてくれた、とてもやさしい男の子たちだったそうです。人助けをしてくれた4年生と6年生には、その人の言葉をすぐに伝えに行きました。「いえ、当たり前のことをしてだけですよ。」「もう退院したのですか。良かった。」などと言っていました。私もとてもうれしかったので、みんなにも話そうと思いました。

もう1つは、先週、4年生とプラネタリウムに行った時や3年生が地域の方に昔の話を聞きしたりした時のことです。聞き方がとても素晴らしく、挨拶や感謝の言葉も心を込めてしていました。「いい子たちですね。」「話をよく聞いていて反応もいいです。」と誉めていただきました。プラネタリウムでは、夏と冬と春の太陽の動き方の違いを教えてください、オリオンと子犬座と大犬座の明るい星で作られている冬の大三角やオリオンの戦いを見ているようなふたご座について教えてくださいました。宮沢賢治の「双子の星」のお話の読み聞かせもありました。とても楽しい学びの機会になりました。

双子の星には、チュンセ童子とポウセ童子という双子のお星様が出てきます。2人は、水精でできた小さなお宮に住んでいます。ある時、サソリとカラスが戦って、どちらも傷ついた時に、双子の童子が助けてあげるお話でしたが、実は、双子の星の話には、パート2があるのです。こちらに出てくるのは乱暴者のほうき星がちょっと旅に出ようと誘う話です。ほうき星が自分の自己紹介をする時に、「俺なんか面白いぞ。俺のあだ名は空の鯨と云うんだ。知ってるか。俺は鰯のようなヒョロヒョロの星やめだかのような黒い隕石はみんなパクパク吞んでしまうんだ。それから一番痛快なのはまっすぐに行ってそのまままっすぐに戻る位ひどくカーブを切って廻るときだ。まるで身体が壊れそうになってミシミシ云うんだ。光の骨までカチカチ云うぜ。」と言うところが面白いです。

最後は竜巻に乗って戻ってくるのですが、どうしてそうなってしまったのかは、ぜひ、自分で読んでみてください。乱暴者のほうき星が最後にどうなるのかも楽しみです。

今度の日曜日、3月3日が、ひなまつりなので、校長室の前に、おひなさまを飾りました。なんだか春らしくなりました。

みなさんも春を見つけたら教えてください。

ドッジボール大会の表彰をしました。